Hijicho
大阪市立大学新聞

2015.6.3
第35号

# はじける飛沫 響く掛け声 第124回 ボート祭

Hijicho　大阪市立大学新聞

Pick Up　2面 ◇ 追い風に乗って～第124回ボート祭～

ニュース
4面◇市大生に聞く！大阪市の明日を問うた住民投票
5面◇市大のシンボル リニューアルも
9面◇四者総会・BOX総会2015開催
10面◇ボート祭フォトレポート

コラム・連載
6面◇「仕方ない」と諦める前に! 関西アルバイトユニオン
7面◇温故知新 vol.10 ボート祭の今昔
12面◇市大川柳

# 追い風に乗って
# ～第124回ボート祭開催～

5月23日(土)・24日(日)の2日間にかけて、第124回目となるボート祭が行われた。ボート祭とは、毎年5月に桜ノ宮の大川で開催されるボートレースのことであり、市大生だけでなく一般市民も参加することができるお祭りだ。また、レースだけでなく盛大なセレモニーや各種ステージ企画も用意されており、毎年大きな賑わいを見せている。

写真＝レースの様子

両日晴天のもと行われたボート祭。恒例のコンサートバンドによる演奏から始まった開会式では、学長からの挨拶の他、青桃会によるライブアートや、応援団の演舞が行われた。ボート祭の伝統ある歴史を語った西澤学長の言葉の通り、このボート祭は明治22年から続くものである。多くの伝統と歴史を背負い、今年もたくさんの参加者による白熱したレースが展開された。

レースは学部の部、文化系サークルの部、体育会系サークルの部、教職員の部、女子の部、市民の部の合わせて6つの部門に分かれており、その他特別レースとして学長レースと学部選抜レースも行われた。少ない練習時間であったにも関わらず、どのレースも白熱した大変見ごたえがあるものであり、道行く人も思わず足を止めるほどであった。

第124回ボート祭実行委員長の清水雄斗さんとボート部主将原田正喜さん、副主将の大石将司さんに話を伺った。

写真＝左から 清水さん、原田さん

### ○ボート祭実行委員長 清水雄斗さん（経・3）

**ーボート祭を運営する上で、何か苦労したことはありますか**

今年のボート祭実行委員は皆とてもやる気で、良い雰囲気でした。ボート祭を盛り上げるぞという気持ちに溢れており、各々が主体的に動いてくれたので、運営をする上で特に苦労したことはありません。とても和気あいあいとしていましたね。

**ー今回のボート祭で何か工夫した点はありますか**

今回は出艇数を増やすという目標がありました。なので、ボートを1つ出艇するためには5人必要なところを、3人からでも申し込めるようにしたんです。人数が足りない船はこちらでドッキングして、出艇人数に足りるようにしました。実際この制度を設けたことで参加人数が増えたので、良かったです。

**―来年のボート祭はどうあってほしいですか？**
　来年のことは全く考えていませんね。まずは今、このボート祭を成功させることだけを考えています。こうやって当日を迎えてみると、レースだけでなくステージ企画もそれぞれ頑張っていて、多くの人がボート祭に訪れてくれています。今までやってきたことは無駄じゃなかったんだなと思いました。

## ●ボート部主将 原田正喜さん（工・4）

**―ボート祭当日を迎え、どのような気持ちですか**
　とても楽しいです。卒業された先輩や地域の方々が声をかけて下さって、力になってくれるのが嬉しいですね。
**―ボート祭を運営するにあたって、何か心掛けていることはありますか**
　ボートとはとても奥が深いものです。今朝の練習の時でさえ、新しいことを発見するほどですから。でも、ボート祭に参加して下さった人たちのほとんどは2、3回しかボートを漕ぐ機会がありません。なので、その少ない回数の中でなるべく楽しさが伝わるように心掛けています。
**―来年ボート祭を運営する後輩たちに、何か伝えたいことはありますか**
　ボート祭は初心を思い出す良い機会だと思います。ボート部として様々なことをしているうちに、どうしてもやらされているように感じてしまう時があります。でも、ボート祭は自分がやりたくてやっているんだということ、勝つためにやっているんだということを思い出させてくれます。そんな機会を大切にしてほしいです。

## ●ボート部副主将 大石将司さん（法・4）

**―ボート祭に対する意気込みを教えて下さい**
ボート部はボート祭では競技に出ず、運営に協力しています。なので、ボート祭が事故なく安全に進むよう心掛けています。また、この前入った25人ほどの1回生もボート祭に参加しているので、コミュニケーションをとれる良い機会になればとも思っています。
**―後輩たちに伝えていきたいことは何ですか**
部員からすると、ボート祭の運営はボランティアのようなものです。しかしそれを否定的に取らず、他の応援団や支援課等いろんな方々のありがたみを感じてほしいです。普段お世話になっている方々のことを分かってほしいですね。また、これからも主体的にやっていってほしいと思います。

**文責**
大塚成美（Hijicho）

# 第124回ボート祭 レース結果

**◇学部の部**
1位 antiaginger XY
2位 チーム早老

**◇新入生の部**
1位 エラオマッセ
2位 タイタニック
3位 チロー・デラックス

**◇女子の部**
1位 antiaginger XX
2位 おかんちゃうぞ号
3位 艇ラ―スウィフト

**◇体育会系の部**
1位 エラオマッセ
2位 D・ゴードン
3位 タイタニック

**◇文化系の部**
1位 アコギ部黒船見習い
2位 新聞を書きま船？
3位 行け行けとりさん号

**◇教職員の部（タイムレース）**
1位 医学ブーーーのトヨブーーー
2位 複合先端研A
3位 THE ゆうこりんズ

**◇市民の部**
1位 Team ギュレギュレ
2位 東淀川区民の会
3位 フィールドオフドリームス１号

**◇特別レース 【学長レース】**
1位 大阪府立大学 学長艇
2位 大阪市立大学後援会
3位 大阪市立大学 学長艇

**◇特別レース 【学部選抜】（タイムレース）**
1位 健スポ
2位 タートルズ

**◇仮装賞**
ラブライ部！

**◇ネーミング賞**
オールナイゾイッポン

# 市大生に聞く！
# 大阪市の明日を問うた住民投票

5月17日に「特別区設置住民投票」いわゆる大阪都構想（注1）に関わる 住民投票（注2）が実施された。府市大統合案も盛り込まれたこの大阪都構想。市大生も無関心ではいられなかったのではないだろうか。

即日開票された結果は、賛成　694,844票　反対　705,558票。反対が約1万票という僅差で賛成を上回った形となった。これにより、大阪市の存続が決定した。また、投票率は66.83%だった。これまで各地で行われてきた住民投票の中では、最大規模の有権者数となった。

今回Hijichoは、開票後1週間以内に杉本キャンパス内にて学生に今回の住民投票に関するインタビューを行った。なお、回答者については学部・回生・出身地・性別をそれぞれ明記している。

*「今回の投票結果は賛成か反対かの0か100かしかなく、もったいないと感じた。もっと時間をかけてやればよかったのにとも思う。」*
*（法・1・大阪府・女性）*

*「結果が出て反対派が勝ったと分かった途端、橋下市長は全てを投げ出してしまった。今後いったいどうするのか不安だ。都構想についてはよく分からなかった。とりあえず反対した方が良いという風潮があったように思う。」*
*（工・2・大阪府・男性）*

*「住民投票は直接投票なので、今回の結果も一定の効果はあると思う。ただ、投票結果にほぼ差がない状態での決定で、民意がちゃんと反映されるのか疑問だ。」*
*（法・3・京都府・女性）*

*「今回僅差での投票結果であったことを受けて、投票に行くべきだという意識が高まった。何かもめるようなことが起こった場合、住民に民意を問うというのが本来のあり方であり、今後とも住民投票はやるべきだと思った。」*
*（工・1・奈良県・男性）*

*「メリットとデメリットがよく分からなかった。中国でも若者はあまり投票に行かないが、日本ほど問題視はされていないように思う。」*
*（経営学研究科・M1・中国・女性）*

*「都構想について、具体的なことはあまり説明されていなかったと思う。」*
*（理学研究科・M3・大阪市・女性）*

*「行政が良くなるから都構想については賛成だった。投票には行くべきだと思っていたが、今回の結果を見て、より行こうと思った。」*
*（経・1・大阪市・男性）*

今回の「特別区設置住民投票」は、有権者を満20歳以上の大阪市民（日本国籍を有する）に限定していた。しかし、大阪市民だけでなく、未成年や市外在住者、留学生も集まる市大においても、今回の住民投票への関心は高かったといえる。

賛成と反対の約1万票差は何を意味するのか。今回の住民投票によって、特別区設置は否定された。しかし、多くの有権者が何らかの形（特別区設置以外の形も含め）で大阪市の改革を嘱望していたことは間違いない。今回の結果は真摯に受け止めつつ、市民が何を求めているのか耳を傾け、今後も行政を運営してほしい。

※注1 大阪都構想……大阪市（24区）を解体して特別区（5区）を設置する統治機構改革。大阪市が担う事務のうち、広域行政は大阪府に移管する。制度案によると、公選制の区長、区議会を置く人口34万～69万人規模の5特別区が福祉、教育などの住民サービスを担い、成長戦略や産業政策は府に一元化する。

※注2 住民投票……地方公共団体において行われる投票のうち、選挙及び解職又は解散の投票を除き、個々の政策等について、地方公共団体がその可否又は選択肢を住民に示し、住民が投票により自らの意思を表明する方法。

**文責**
大塚成美（Hijicho）
丹下舜平（Hijicho）

# 市大のシンボル リニューアルも

## ～平成32年に向けワシントン広場の整備を検討～

長年にわたって、大阪市立大学の顔として親しまれ、大学のロゴマークにも使用されている本館地区のワシントン広場が大きく様変わりするかもしれない。

大学は、本館地区前庭整備委員会を設置し、ワシントン広場を学生や市民の方々に親しまれる空間とするための整備を現在検討している。このような整備が計画される背景には広場のワシントンヤシの寿命が近づいており、何らかの手立てが必要であることが挙げられている。現在は、ワシントンヤシは健全に生育しているものの、今後寿命を迎えた時に、樹勢の衰えから倒木等によって人や建物などに被害が生じる危険性があるという。そのため、大学はこのワシントン広場を中心に周囲の道路一帯も含め、整備することを計画しており、市大の創立140周年の節目の年となる平成32年ごろの完成を目指している。また、この整備やワシントン広場についてに関する意見を幅広く募集している。今回寄せられた意見などをもとにして前庭整備委員会で議論され、今夏に具体的な計画案が発表される予定だ。

現在、今植えられているワシントンヤシを撤去することは決定しているものの、この整備については全く白紙の状態から検討しているため、そのワシントンヤシを植え替えるのか否か、といった具体的な方向性は決まっていない。現在の景観を維持してほしい、という声が多ければ、ワシントンヤシの植え替えという方向になる可能性が高いが、一方で寄せられる声次第で現状のワシントン広場とは全く違った空間となる可能性もあるという。また、撤去されるヤシの木の活用法なども決まっていない。

ワシントン広場は市大の顔となる空間であるため、みなさんの想いが反映される憩いの空間にしたい。こうしてほしいなという想いや意見を一つでも多く寄せてほしい、と施設整備担当課長の都司さんは語った。

本館地区前庭に関するご意見は
yashinoki@ado.osaka-cu.ac.jp まで

**文責**
町田和紀（Hijicho）

写真＝整備が検討されているワシントン広場

# 「仕方ない」と諦める前に！ 関西アルバイトユニオン

前期の授業も中盤にさしかかり、新入生も大学生活に慣れてきたことだろう。そしてこの時期に新たにアルバイトを始めるという人も多いのではないだろうか。アルバイトとは本来、大学生活をより楽しむため、また時には学費を稼ぐためにするものである。しかし、アルバイト先からの要求をやみくもに飲み込み、学業とのバランスが取れなくなっている人も多く見受けられる。しかし、不当な働き方をさせられていると感じたとしても、生活に欠かせないお金が関わっているからこそ、簡単には相談できないということもある。そんなときに相談できるのが今年2月に結成された関西アルバイトユニオン、略してかんユニである。かんユニは、学生がアルバイトにおける問題を気軽に相談でき、またその問題を自ら解決することを通してなぜそのような問題が起こるのかを考えることを第一目的とする学生のための労働組合であり、構成員も大学生が中心となっている。今回はかんユニのメンバーである柊まりさん（理学研究科M1）に話を伺った。

写真＝かんユニの会合の様子

―関西アルバイトユニオンを結成しようと思ったきっかけはなんですか

以前アルバイトをしていた塾で「明日から来なくていいから」といきなり解雇されたんです。当日解雇は違法だということを知っていたので、労働組合に所属している友達に相談しました。もともとそのアルバイト先がいわゆる「ブラックバイト」で、残業も多かったので、それをきっかけに労働組合に入り、残業代を取り戻すために闘いました。その結果、23万円払ってもらえて、労働組合は便利なものなんだな、と感じました。特に学生の人は暇だし新しいバイト先を探せばいい、と違法な労働形態をさせられたとしても泣き寝入りする方が多いと思います。それならば、学生に身近な労働組合を結成すればいいのではないかと考えていた際に、私と同じように考えていた仲間を見つけ、労働組合を立ち上げました。それが関西アルバイトユニオンです。

―どのような方から、どんな相談を多く受けますか

学生や、アルバイトをしている学生の親から多く受けます。内容は時間外勤務が多い、シフトを無理やり入れられるというものが多いですね。「断ってもいいんですか」とか「働くってこういうことなんですかね」といった質問を数多く受けます。このような質問を受けたときは、まず相談者本人にそのようなアルバイト先の行為は違法であることを伝え、契約と違うということを本人に会社側に伝えてもらいます。それでも改善されないようであれば、私たちかんユニが会社側に連絡するという方法をとることにしていますが、相談者から会社に働きかけて解決しなかった件は今のところあまりありません。「ブラックバイト」であっても会社側自体が違法なことをしているとわかっていないケースがとても多いので、会社に違法であることを伝えることがとても大切です。

―アルバイトしている人、またこれからアルバイトを選ぶ人にアドバイスをお願いします。

泣き寝入りはしないでほしいです。私たちは「さとり世代」と呼ばれ、これはおかしいんじゃないかと思っても「こんなものか」と思っ

て無理をしてしまう人は多いです。でも、違法なものは違法だし、そんなところはさとらなくていいので（笑）。学業に支障をきたさない程度にアルバイトはしてほしいなと思うし、そのために、困ったことがあったときは私たちのような団体を頼ってほしいと思います。

**from editor**

たとえ不当な働き方をさせられても「アルバイトだから仕方ない」と諦めて働き続けたり、新しいアルバイトを探してきた人も多いのではないかと思う。しかし、私たちの時間は有限である。無駄なことに時間を割いてしまうことのないよう、勤務に見合ったお金を請求するというまっとうな権利を主張し、賢くお金を稼いでほしい。

**文責**
田上結稀（Hijicho）

# Vol.10 ～ボート祭の今昔～

Hijichoが誕生する60年以上前から発行されていた「市大新聞」の掲載記事を、Hijichoの手で復活させていくこのコーナー。

5月の行事と言えばボート祭である。ボート祭とは、桜ノ宮の大川で行われているボートレースのことだ。市大生だけでなく一般市民も参加することができ、毎年多くの人で賑わっている。レースの他にも盛大なセレモニーや各種ステージ企画も行われており、魅力満載のお祭りである。

今年で124回目の開催となるそのボート祭が、昔はいったいどのように行われていたのだろうか。今回は、1955年（昭和30年）6月30日に発行された「市大新聞」第66号より、ボート祭についての記事を取り上げる。

*―ボートレースにて*

*●豊陵B（※チーム名）全員はり切って朝早くやって来たので本部へ伝達に行ったところ、集合時間が遅れたから不戦敗とのこと。しばらくして開会が宣言されたので"俺達は開会される前に敗けてしまったのか"と五時に起きて来た者のぼやくことぼやくこと。*

*●例年のように変った名前のグループが多かったがその中で二つ三つ…*
*神経痛という名前に迷わされてなめてかかったところ案外強いので"どうも一種の心理作戦だぞ""あいつらが神経痛ならわしらは中風だ"と負けたグループがぼやいていた。*

*勇将というグループ、優勝にゴロを合わせたのだろうが一回戦で棄権、”名前で驚かすなんてキケンなグループだ”とはもっぱらのうわさ。ハンサムボーイズのとき観衆、特に女子学生の熱心な御観戦にもかかわらずそれらしき人物は一人もみあたらなかった。一人もいないのにボーイズと複数形だなんて罪が深いね。雨でビショビショになって寒そうに本部に帰って来たハンサム君達”これじゃアーサムボーイズだ”と。*

*●堺中の連中人数が足りなくて借りにきたのはよいけれど頼んだ相手が今度対戦するグループの一人だとはよくよく人が足りなかったとみえますね。*

笑い話にハプニングと、ボート祭を楽しむ学生の姿は今も昔も変わらないようだ。
長い歴史を刻むボート祭。ぜひともその伝統だけでなく、学生含め多くの参加者たちの笑顔をいつまでも受け継いでいってほしいものである。

**文責**
大塚成美（Hijicho）


# Hijicho × LINE

市大・地域の最新情報を
LINEでもお届け！
Hijicho 公式LINEアカウントで
より充実したキャンパスライフを！

お友達追加は下のQRコードから
または、LINEの検索フォームで
@hijicho で検索！
LINE ID @hijicho

**お友達登録数 750人突破！多くの市大生に利用されています！**


## 新コーナー　マダム鳥子の ピーチクパーチク うるさいわね！

～今日も悩める雛鳥たちから～

読者の方からのお悩みにマダム鳥子（ちょうこ）がお答えします。鳥子は鳥なので皆様のお悩みを解決できるか分かりませんが、風切り羽でスパッとお答えします。どんなお悩みも受け付けます。
皆様のご応募お待ちしております。
○応募要項
ペンネーム・所属（所属の掲載は致しません。）
相談内容
○注意事項
個人、団体が特定されること、誹謗中傷はおやめ下さい。
他人の権利に触れる投稿や二重投稿はご遠慮ください。
webや紙面で公開される場合があります。
掲載の際は表現を変えたり一部を削除したりすることもあります。
応募多数の場合は厳選させて頂きます。

あなたのお悩みをマダム鳥子に相談しませんか？ 相談は下のQRコードから！

# 四者総会・BOX総会2015 開催！

2015年7月2日（金） 18時10分から四者総会が行われます。概要は以下の通りです。
【名称】 四者総会
【日時】2015年7月2日 (木) 18時10分～18時40分
【場所】 810教室
【主催】 四者連絡協議会
【参加者】 四者連絡協議会に所属している団体の代表者
内容は新歓期を終えての注意・伝達事項などです。

四者総会終了後、18時50分からBOX総会2015が開催されます。概要は以下の通りです。
【名称】 BOX総会2015
【日時】 2015年7月2日(木) 18時50分～
【場所】 810教室
【主催】 BOX協議プロジェクト執行部
【参加者】 BOXを所有する団体の代表者及び新規BOXを希望する団体の代表者
【万が一出席できない場合】BOX所有団体で代表者が出席できない場合、必ず代理を立ててください。やむを得ず代理を立てられない場合、事前に委任状を提出していただくことで出席と替えることができます。件名に「BOX総会委任状」と、本文に①団体名②責任者名③委任の連絡 を記載し、ocu.boxap@gmail.comまでメールにて提出してください。期限は7/2(木) 18時50分です。

＜BOX総会2015＞
BOX総会2015の内容は以下を予定しています。
◆執行部人事承認
◆BOX協議プロジェクト概要説明
◆BOXヒアリング報告　◆特別議題
◆BOX退去&新入居に関する説明
◆BOX新入居団体候補に関して　◆決議
◆Hijichoおよび四者協からの連絡

今年度は空きBOXがあります。事前に提出していただいたアセスメントシートと新規BOX申請用紙、ヒアリング調査等を元にしながら総合的に判断し、執行部から新規BOX入居団体候補案を総会に提出します。候補案をもとに総会で新入居団体の候補を決定し、学生部に決議書とともに提出します。
BOX協議プロジェクトの目的はBOXに関する意見や要望を大学側へ届けることです。より快適に課外活動を行い、市大をますます活気ある空間にするために、当事者意識を持って参加しましょう。

現在BOXを使用している団体はBOX協議プロジェクトの構成団体となっています。BOX総会はBOX協議プロジェクトの一環です。BOX協議プロジェクト業務規約よりBOX協議プロジェクトの役割について確認してみましょう。

*第一条　名称*
*②BOX協議プロジェクト（以下、プロジェクト）は、BOXを所有するサークルの代表者と執行部によって形成される。*

*第二条　役割*
*意見・要望を協議し、大学側に働きかけることによってBOXに関する学生の要求を実現する。また、BOXを使用している団体と大学側との連絡調整を行う。*

次に総会についても同規約から抜粋しました。

*第五条　総会*
*①プロジェクト内の利害調整の最高意思決定機関は総会とする。*
*②総会はプロジェクト加盟サークルの過半数の出席によって成立する。ただし出席不可の場合は委任状の提出をもって出席と替えることができる。*
*③プロジェクト加盟サークルは、総会に出席し、方針を検討することができる。欠席の場合は総会の決定とそれに基づく執行部の活動を承認しなければならない。*
*④総会は、執行部の原案に基づき開催される。ただしプロジェクト加盟サークルの四分の一以上の要請があれば、開催しなければならない。*

*第六条　総会の議決*
*①総会の議決は、各サークル代表者一票で行うものとする。*
*②総会の議決は、規約改正を除き、総会における出席者の半数の賛成に基づき承認をもって成立されるものとする。*

総会の議決権はBOXを所有している団体の代表者各1名につき1票であるということです。また総会はBOX協議プロジェクトの最高意思決定機関です。BOX所有団体は総会への出席義務があります。

BOX協議プロジェクト執行部

# 第124回ボート祭 フォトレポート

　ボート祭は、レースだけでなく、2日間を通じて市大の部活・サークルのステージ企画なども多数実施されている。Hijichoでは、ボート祭でのステージ企画に出演した各部活・サークルの方やレースに優勝した方に話を伺った。

●青桃会（ライブアート）
―どのような思いでライブアートを描かれましたか？
　皆さんに楽しんでもらいたいという気持ちで描きました。

―苦労した点は何ですか？
　ライブアートを描くメンバーの予定が合わなかったことですね。二週間前から準備を始めていたのですが、なかなか上手く予定を合わせられなくて。また、絵にどう変化をつけるかについて決めるのも大変でした。

―来年の意気込みを教えて下さい。
今年以上のものを作ります！

●応援団新入生（演舞披露）
―今回が初ステージとのことですが、どのような気持ちでしたか？
　私たちは応援する身なので、できるだけ多くの人に、大きな声で伝えたいと思いでステージに立ちました。

―今回演舞をするにあたって、何か頑張ったことはありますか？
　技術では先輩方に勝つことはできないので、その分笑顔や大きな声は負けないように頑張りました。また、練習時間が少なかったので、自主練等で補えるよう努力しました。

―今後の意気込みを教えて下さい。
　応援団はとても伝統ある団体です。その伝統に傷を付けないように、OBの方の気持ちを背負って活動していきたいです。今の自分に満足することなく、来年はさらによくなるように頑張りたいと思います。

●ラブライ部！（ライブ）
―サークル結成のきっかけは何ですか？
　サークル自体は去年の4月に結成しました。去年の銀杏祭が1回目のステージ出演で、今日が2回目になります。『ラブライブ！』というアニメ・ゲームがあるんですが、それが好きなメンバーで集まって立ち上げました。

―ステージ中はどんなことを考えていますか？
　一番はキャラクターになりきることです。あとは、キャラクターへの愛を伝えることですね。基本的には皆自分の一番好きなキャラクターを担当しているんですが、一部のキャラクターは取り合いになったりして決まったんですけど（笑）

　―今後はどのように活動していきたいですか？
メンバー皆で協力してやっていきたいと思います。これからも機会があれば、どんどん出演していきたいですね。

**●文化系サークルの部優勝 アコギ部黒船見習い**

ー優勝した感想は？

　僕たちは一週間前に行われたボート祭の練習日から予定を空けて、今回のレースに臨みました。結果一番良いタイムを出せて、本当に嬉しいです。

ー今回でアコースティックギター部は4連覇とのことですが、レース中どのような気持ちでしたか？

　先輩たちの乗った、『アコギ部二代目黒船2015』は予選敗退してしまいました。なので、一時は連覇の記録がなくなってしまうんじゃないかと不安でした。でも、こうして無事4連覇を果たせて、ホッとしています。

ー優勝の決め手は何だと思いますか？

　5人全員の気持ちが一つだったことです。どの船よりも熱かったですね！

ー優勝賞品（海遊館ペアチケット×5）の使い道は？

　このチケットの有効期限が7/31までなんです。なので、それまでに大事な人が現れるといいなと思います（笑）

**文責**
大塚成美（Hijicho）

写真＝上段左:美術部青桃会 上段右:応援団新入生
中段:ラブライ部！
下段:アコギ部黒船見習い
（亀田写す）

# ○川柳募集中

大阪市立大学新聞 Hijicho では、市大生の声や想いを大学内で共有すべく、市大や市大生の生活に関する**川柳**を募集しています。毎月テーマを設け、それに沿って優秀賞などの選考を行い、**翌月の紙面（Web版なども含む）にて発表**させていただきます。
第6回目となる6月号では、テーマ「**結婚**」に合わせ、過去最多の応募数がありました。
たくさんのご応募ありがとうございました。

# 市大川柳

## 金賞

相手なし　作ればいいやん　ロボットで

PN　工学部女子

**選考委員のコメント**
性格も作れるんですかね？科学の発展に期待しましょう笑

## 銀賞

根気よく　研究励み　婚期去る

PN　とある大学院生

**選考委員のコメント**
きっと幸せは後からついてきますよ！
根気と婚期を掛けている点も高評価ポイント！

## いつか見返してやりま賞

職決まり　彼女まだかと　お母さん

PN　ゆってい

**選考委員のコメント**
日本の夫婦の３割は職場で知り合い結婚しています。
職場でいい人見つけましょう！

作品応募はこちらから

7月号のテーマは『**祭**』です。みなさまのご応募お待ちしております。

<選考基準>　・テーマに沿っていること
・市大、もしくは大学生の生活に関するないようであること
・五七五を目指していること
この3つの基準をもとにHijichoの選考委員が選考いたします。
<募集締め切り> 7月号分（テーマ『祭』） 2015年6月20日まで
<募集要項>右上のQRコードより専用応募フォームにアクセスの上、ご応募いただくか、hijicho@gmail.com まで件名に市大川柳、本文に所属、氏名(ペンネーム可)を明記して送付ください。
※作品は紙面やWebに掲載されることがあります。テーマ以外の作品でも構いません。

# Hijicho Recruiting

Hijichoは共に活動し、市大を熱くする仲間を募集しています。
毎週火曜日17時より編集会議を学情にて実施しています。
見学希望の方は hijicho@gmail.com までお問い合わせください。